

# WORKS

## Empower&Energize

No132  
2013/7

名東福祉社会は名古屋市と日進市を中心に  
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

### 「仮想通貨メイト」の 取り組みについて

統括本部長 山田 達巳

今年度の大きな事業課題として、理事長よりボランティア通貨の創設という提案がありました。その意義、目的については前回のWORKS (No.131)で、理事長より説明がされておりますので、ここでは、実際にスタートするまでの準備を中心にお話させていただきます。

2月初めに、理事長から「ボランティア通貨を導入したいので、法人本部案を作るように」との指示がありました。突然、本部案と言われましても、私自身ボランティア通貨というものの明確なイメージがあったわけでもなく、とりあえず仮想通貨、疑似通貨といったものを取り入れている他の法人を探してみました。高齢者の事業所では活用されているところがあるようで、特に「夢のみずうみ村山口デイサービスセンター」の取り組みは興味深く、事務の方には、お忙しい中、多くの質問に丁

寧に答えていただきました。

高齢者の事業所での疑似通貨は、ボランティアさん向けというわけではなく、利用されているお年寄りの方々が意欲的、積極的にものごとに取り組んだり、楽しんでいただきたための仕掛けのようなものでした。

当法人では、ボランティアさんには、利用者の方々といっしょに作業をおこなっていただいたり、食事の介助、レクリエーション活動への参加、草取りやお花の手入れなどの園芸活動していただいたりしています。そのボランティアさんに、会員登録をしていただき、会員の方にはポイントカードをお渡し、カードには活動1時間毎に1ポイントのスタンプを押すこととしました。合わせてボランティア活動を、作業のお手伝いであれば『S』、バスハイク等のレクリエーション活動であれば『R』といったように活動の種類をコード番号で記入することとし、さらにポイントが貯まるとボランティア通貨と交換できることにしました。また、交換した通貨は、法人内の事業所に設置した商品交換コーナーで好きな商品を購入(交換)できる仕組みとしました。その

ために、ポイントカードを作成し、ボランティア通貨をメイト通貨と名付け、メイト紙幣を用意しました。これらの動きが円滑に進められるよう、株式会社アドム様より、ご寄付もいただきました。

ボランティア活動は見返りを求めるものではありませんので、ボランティア通貨をお渡しするという行為に違和感を持たれる方もいらっしゃいました。ボランティア通貨は、ボランティア活動に対するお礼、感謝の意を示すもの



であることは確かですが、それだけでなく、通貨で商品と交換してもらおうと、その商品を作るといふ利用者の方々のお仕事が生まれてきます。また、商品は事業所で作るだけでなく、地域から集めてくることも可能です。そこでは、趣旨を理解してくださった方が、ボランティア通貨活動に参加して下さるかもしれません。そうなれば地域交流です。各事業所の周りで当法人が発行するボランティア通貨（メイト紙幣）を持っていらつしやる方がみえるようになればすこいことだと思えます。

まずは既存のボランティアさん、ご家族のお手伝いからのスタートです。ボランティア通貨の活動がスタートして3ヶ月が過ぎようとしています。現在のところ数十名のボランティア登録と、メイトショップ1箇所が準備できました。

当然、利用者の方のボランティア活動もこの活動の対象とし、メイト紙幣を持った利用者が、商品交換コーナー（メイトショップ）で、「どれにしようか…」と商品の前で悩む姿が見られることにも期待しています。

日頃、ボランティアさんには事業所の得意分野をさらに伸ばしていくために、また、弱い支援箇所を補うために、利用者の方々に直接関わっていただいたり、事業所内美化のように間接的に関わっていただいたりしています。各事業所とも、そのようにボランティア活動をコーディネートしています。ただそれは、経験を基に自然とおこなっているもので、普段は、素朴に「ボランティアをしていただいてありがとうございます」と感謝の意を示しています。

これからは、ボランティア通貨活動の実践により、ポイントカードに記入されたコードを整理することで、ボランティア活動内容を数字で確認することが可能になります。その集計結果が事業所の支援の強みと弱み（長所と短所）を客観的に表すのではないかと考えています。もしそうだとするのであれば、事業所の展開に大きく影響を与える資料になるはずですよ。1年後の集計結果が大いに楽しみます。

## 本人の「強み」に 目を向けてみよう

名東福祉社会理事長 加藤 久和

### ■はじめに

ボランティア通貨がはじまりました。メイトの実践は難しく考えるのではなく、楽しい活動のひとつと考えてお気軽に楽しく取り組んでください。「メイト経済」で流通するサービスや商品を生産するために利用者の得意な事が生かされ、楽しみにしている時間が増え、笑顔が広がるのが目標です。

### ■強み（ストレングス）モデル

今月は、ストレングスモデルについてお話しします。日本語で言うと「本人の強みや得意なことを中心にして支援計画を立て実践する福祉技法」といったらいいのでしょうか。

みなさんは糸賀一雄、田村一二、池田太郎という人をご存知でしょうか。日本の障害児教育や障害者福祉の草分けといわれる偉大な先生たちです。私の世代は田村先生、池田先生のお話を

ギリギリ、直接聞けた世代です。田村先生のご講話は奇想天外でユーモアに溢れ、当時の愛知県民生局や愛護協会も何度も先生をお呼びしてお話をしていたきました。

田村先生のお話

「あるお百姓さんが稲の伸びるのが遅くて非常に悩んでいた。そこである日のこと、稲を少し引つ張って延びるのを助けてやったそうです。その話を家に帰って来て息子にしました。それを聞いてとても驚いた息子は、翌日田んぼに飛んで行って稲を見たら、案の定、全部枯れていた。」という宋の時代の故事の話がありました。田村先生は

「知的障害の教育も同じ。本人を伸ばすよう教育するのではなく、本人が伸びるようにするのです。本人は伸びる力をもっています。私たちのすることは本人がのびのび生活して力が発揮できるよう、お百姓さんのように土を耕したり、水を通したり、日に当たったり、肥やしをやったり、雑草を取り除いたりすることです。」と話されていました。30年ほど経過していますが、今でも知的障害がある人たちの支援では本質的なことであると思えます。

田村先生はもうひとつ「流汗同労」ということばを残されています。これは、知的障害の人を支援する際には、いっしょに汗を流し、ともに労ったり喜びあったりすることが大切であるという意味です。

近年、厚生労働省が出しているガイドラインはストレングモデルを土台にしています。ストレングモデルを簡単に述べれば、本人がやりたいと願っていることを最優先して、本人のまわりの支援者の協力を得ながら支援計画を立て実践しなさいということですが呼び方は洋風ですが本質は田村先生たちが主張されていた事とかわっていません。先人たちがやりたいと願っていた事がようやく実現しつつあるということだと思えます。

以下、「ストレングモデル」について概略を述べてみたいと思います。チャールズ・ラップのストレングモデルでは6つの原則を掲げています。

**原則1** 障害がある人は自ら回復し、自ら要求を述べ、自分たちの手で生活を変えることができます。

**原則2** 障害とか欠陥よりも、本人のひとりひとり違う強みに注目して下さ

い。

**原則3** その人が生活している地域は資源が溢れるオアシスです。

**原則4** 本人が支援過程のディレクターです。

**原則5** 相談支援者と利用者本人の関係性が成功を左右する最も重要な要件です。

**原則6** 主要な活動場所はコミュニティです。

原則の1はストレングモデルの中心となる理念だと思えます。本人にはもともと回復力があるのですから私たちの仕事は「本人が成長することができる条件を整える事」となります。本人がそういった力を持った存在であると信じる事は、実際に、ケア計画そのものに強い影響がでると思えます。相談支援においても、計画に本人やその家族が主体的に参加する事が成功を左右すると思えます。

原則の2はポジティブ心理学を彷彿とさせます。障害者のケアプランのアセスメントでは本人の「強み」や「ポジティブな特性」を見つけ出し、その強みを中心にしてケアプランを築き上

げます。本人の強みには「本人のもっているもの」と「まわりの人や地域がもっているもの」があります。その両方が強みです。

確かに、障害がある本人が抱えている問題は無視できないのですが、ネガティブな面に焦点をあててケアプランを立てると、どうしてもその人がもっている「強み」を見逃しまいやすくなることがあると思えます。人はその人が頼っている人や信頼している人ともにいるときに力を発揮します。人は慣れ親しんだ場所や思い入れのある地域で生活するとき、本来もっている生活の力が発揮されます。本人自身の内側にある強み、本人のまわりにある環境の強み、それらがみな本人の強みです。

原則3は地域福祉の理念でもありません。強みは個人だけに限りません。本人が生活している地域にも強みと弱みがあります。

昔は障害があるひとにとって地域は「閉鎖的で行き来できない、差別される場所」でした。しかしストレングモデルではそのようには考えません。地域は雇用の場であり、障害がある人の

力を試す場であり、支援者が限りなく存在する場です。地域は障害がある人を挫くこともありませんが、同時に、障害がある人の人生を豊かなものにしてくれる場でもあります。

障害は本人の資質によって生まれるものではありません。地域とのかかわりあいの中で決定します。地域の強みを発揮して地域の社会資源が育ち、相互に補完し合いながら障害がある人を支える事によって、障害は軽減されます。その意味で地域の強みをのばすことが障害福祉にとってより重要です。

原則4は自己決定を優先すべきであるという原則です。知的障害や精神障害のように意思決定をするプロセスそのものに支援が必要な場合であっても、むしろこの原則はより重要になります。人は個人の興味とか、得意な事をしているときに力を発揮します。自己決定を大切にするのはその方が本人の強みをとらえ、接近しやすいからだと思います。

原則5はともに生きると言い換えてもいいと思えます。相談者は利用者とともに行動すべきですし、失敗や成功

を共同体験として繰り返すことでともに成功したことを喜べる関係が生まれます。まさに田村先生の「流汗同労」の理念です。

原則6は地域福祉の理念です。これからの福祉は地域ごとにその強みを生かしながら進んでいくものと考えられます。もちろん、それぞれの地域が大きくまとまって最終的には国柄につながっていきます。

## ■ストレングスモデルに注目すると

### 効果的なプログラムとなる

ストレングスモデルは倫理的に正しいから薦められているという面もありますが、私はより効果的で実際的であるから推奨されていると思っています。ラップの「ストレングスモデル」を讀んでみるとポジティブ心理学を提唱してきたセグリマンやクリストファー・ピーターソンの論文を多数引用しているため、ポジティブ心理学と全く無関係ではありませんでした。むしろ、ストレングスに注目する事が本人の生活の質を高め人生において幸せを実現する近道であるという主張はまったくセグリマンらと同じ主張です。

ストレングスには、本人のストレングスと本人が生活している地域のストレングスの2つがあります。

### ◎本人の個人的ストレングス

・願望 生活がうまくいっている人は、目標と夢がある  
・能力 生活がうまくいっている人は、彼等の願望を達成するために、彼等の得意なことを用いている  
・自信 生活がうまくいっている人は、目標にむかって次のステップに移る自信をもっている

### ◎本人が生活している環境の

#### ストレングス

・資源 生活がうまくいっている人は、目標達成を達成するために必要な資源にアクセスできる  
・資源 生活がうまくいっている人は、少なくとも一人とは意味のある人間関係を構築している  
・資源 生活がうまくいっている人は、目標達成のチャンスがある  
・資源 生活がうまくいっている人は、目標達成に関する資源と人間関係が相互に響き合う機会に恵まれている

従って、本人のストレングスを見つけて事が成功するための近道となります。

・本人が大切にしている人やものや活動は何だろう

・本人が興味を持っていることは何だろう

・本人がやっていると感じる事は何だろう

・本人が実現したいと願っている夢や目標は何だろう

・本人が得意としていること、才能、特技は何だろう

・本人が自信があることは何だろう

・本人の支援者は誰だろう

・支援者が本人といっしょにやると楽しめる活動は何だろう

といったことをリストアップするだけでも強みのリストが出来上がってきます。このリストをもとにし本人にも支援者にも心地よいプログラムを築き上げるができます。

## ■支援者としてのこころがまえ

さいごに、ストレングスモデルを進めていく上で支援者としての態度についてご紹介しておきます。もちろんこれを書いていく私自身ができていないかと言われれば困ってしまいますが目

指すべき道ということでご容赦下さい。

### ◎気配りを通して希望を築こう

・アクティブに話を聴こう（目を見て相手の話した言葉をフィードバックする）

・何かあったらいつでもご連絡くださいという態度で

・気配りと優しさが相手に伝わるよう行動で示しましょう

・あなたを信じていますし、いつもあなたの味方です

・ポジティブで勇気づけるコメントを成功していても失敗していても人を受け入れましょう。努力を誉め称えましょう

・支援の過程でいつも相手の意見や選択を求め、大切にしましょう

・お客様が話した事やしていることに強い関心を持ちましょう

・何か共通の事柄を分かち合いましう

・適切であれば、個人的な経験を共有しましょう

・人間だから失敗もあります

### ◎尊敬を持って

・本人の選択や要望を積極的に実現す

ることこころがけるといいです。反対に、事業所が提供できることに合わせて選択や要望を縮小させないようにしましょう

- ・アポイントメントに従いましょう
- ・電話があったらすぐに電話をかけ直しましょう
- ・約束は守りましょう
- ・時間厳守
- ・自分がやってほしいように相手に接しましょう

### ◎ポジティブな事柄に

#### 焦点を合わせましょう

- ・過去の失敗よりも積極的に未来の話を楽しみましょう
- ・得意としていること強みに注目しよう
- ・よくできたことを誉め称えましょう
- ・うまく行かなかったときにも、うまくやれた事を思い起こしましょう
- ・他の人も似たような体験があることを知らせ、本人の経験をノーマライズしよう
- ・「はい、できますよ」でコミュニケーションしよう
- ・成功しているところを指摘しよう

・やり遂げられなかったことについても再挑戦

### ◎成功を称えよう

- ・成功には特別な労(ねぎら)いを
- ・小さい事や大きい事に関わらず成功を称えよう

### ◎本人に寄り添う

- ・病院に付き添う、法廷に付き添うなどして本人の恐れや不安をできるだけ解消するように
- ・権利擁護
- ・本人に会うために病院や施設へ訪問
- ・継続的なコンタクト

### ■目標へ向かって進むことを支援

- ・目標の確立の支援
- ・小さな目標を設定する事によって前に進む事を支援
- ・今取り組んでいることそのものが目標だということをしっかりと認識
- ・目標達成は可能である
- ・自立へむけた目標の設定

### ■選択を応援

- ・自分の人生を自分で決めることを支援

・いろいろな選択のオプションを用意  
・意思決定ができるように情報の提供  
・サービスの選択可能性とサービス提供者のチェンジ

### ■教育促進

- ・回復に関する教育と治療や投薬の教育
- ・家族に対する理解と支援の教育

### ■未来に向けて

- ・支援は永続しなくてもいいこと
- ・普通の地域の中でも過ごす時間を設ける
- ・医療機関や福祉関係以外の場における社会資源へ入っていくことを促進する

### ■やまじい

名古屋市では今、基幹相談支援センター構想が進められているそうです。今後、知的障害だけではなく身体障害、精神障害の方々に対する支援についてもそれぞれの領域の担当事者が総合的な関わりを深めていくことになると思います。チャールズ・

ラップはその著書の中で、自身、精神障害があることを明かしています。ストレングスモデルは正にラップの体験から生まれた実践方法です。その意味では今後の地域福祉の展開において、ストレングスモデルは今後、ますます注目を集めていくと思います。とはいえ、そこで主張されていることは日本の伝統に照らし合わせてみれば決して新しいものではありません。むしろ日本人が古くから持っている価値観とぴったり符号するものだと思います。自分の強みや地域の強みを考える事って楽しいことですから実践するのも楽しいですよ。



## ご寄付ありがとうございます

平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日

### ◆メイトウ・ワークス

宇佐見ゆみ子様 板倉典子 様 大内伸元 様 金澤厚 様 川口功 様  
熊谷哲弥 様 近藤正俊 様 廣田芳子 様  
手芸サークル マーガレット様 メイトウ・ワークス家族会 様

### ◆天白ワークス

青山武司 様 長井淳 様 長谷川徹 様 水嶋正直 様 水谷義孝 様  
村口竜二 様

### ◆はまなす

今津俊典 様 木村恵子 様 原田不二夫様 山田幸造 様  
はまなす家族会 様

### ◆レジデンス日進

伊藤鉦一 様 林輝夫 様 松岡正人 様  
レジデンス日進家族会 様

### ◆上ノ山ホーム

石村博 様 河津光子 様 北原良一郎様 谷本幾史 様 吉田征一 様

梶島博 様 小田雪子 様 谷本憲哉 様 寺前静枝 様 藤本邦子 様  
山口明子 様 山本明子 様 名東福祉会上ノ山農園支援の会 代表 松田信孝様  
(株) アドム様

## 名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>

### ●社会福祉法人 名東福祉会

〒 470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

### ●メイトウ・ワークス

(就労継続B型・生活介護)

〒 465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303

TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

### ●天白ワークス

(就労継続B型・生活介護)

〒 468-0023 名古屋市天白区御前場町 327

TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

### ●焼き菓子の店「ロト」(天白ワークス生活介護)

〒 470-0124 日進市浅田町平池112-3

TEL 052(808)6555 FAX 052(808)6555

### ●デイケア はまなす

(生活介護)

〒 465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911

TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

### ●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

(施設入所支援・就労継続B型・生活介護  
／地域活動支援センター)

〒 470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

### ●上ノ山ホーム

(グループホーム・ケアホーム)